

KANTELE

フィンランドの弦楽器
カンテレコンサート
CONCERT



Finland

2019年12月1日(日)
15:00～15:30 / 16:00～16:30

2019年12月16日(月)
16:00～16:30

会場:センチュリーロイヤルホテル 2Fロビー

鑑賞無料

主催:センチュリーロイヤルホテル
後援:北海道フィンランド協会

12月1日(日) プログラム
・グリーンスリーブス
・サリーガーデン
・ウェディングワルツ
・スカボローフェア
・コネビスト教会の鐘の音
・フィンランディア 他

12月16日(月) プログラム
・虹と雪のバラード
・スカボローフェア
・主よ人の望みの喜びを
・見上げてごらん
夜の星を
・フィンランディア
・クリスマスソング 他

12月1日(日) 出演



©Nobuo MIKAWA

佐藤美津子

北海道フィンランド協会常務理事、道新文化センター カンテレ講座講師(2004年から)。カンテレあんさんぶる“みゅう”主宰。カンテレ奏者、指導者として活躍中。又、編曲も得意としている。カンテレ歴は32年。フィンランド渡航歴は20数回に及ぶ。2000年から毎年フィンランドのカンテレキャンプに参加してトップカンテレ奏者に多数指導を受ける。2009年にフィンランドの5か所でカンテレコンサートを開催し好評を博す。その他来日するカンテレ奏者とのコラボも多数。道内を中心活動中。2006年ファーストアルバム「風のカンテレ」、2009年11月「白樺物語」をリリースし好評を博す。

Hilma ヒルマ



佐藤美津子 Idā Elinaや Minna Raskinenに師事。コンサートカンテレのクラシック奏法とサービヤルビカンテレ、民族音楽を学ぶ。佐藤美津子主宰のカンテレあんさんぶるみゅうのメンバーとして、モエレのホワイトクリスマスやカルチャーナイトで演奏。2016年にはミンナ・ラスキネン主催のカンテレ講習に参加し、フィンランド・アイトマキでのコンサートで共演。2018年にはスペインのバイオリニスト、アドリアナ・アルカイデと共に果たす。その他ギタリストや声楽家とのコラボ多数。現在は中世音楽やアイルランド、フィンランド民謡を演奏するユニット「アンサンブル・バテラ」を宇治美穂子、大伴やよいと共に結成し、演奏活動を行っている。日本カンテレ友の会副会長。

KANTELE【カンテレ】とは

北欧のハープと言われているカンテレは森と湖の国フィンランドに2000年以上も前から伝わる民俗楽器です。ルック&フィールはハープ、または日本の箏を連想させその音色は透明、繊細でナイーブそして何とも形容しがたい神秘的な余韻が残る不思議な楽器です。

カンテレは5弦から40弦まであり大別すると小型カンテレ(5弦)、中型カンテレ(10弦から19弦)大型カンテレ(20弦から40弦)の3種類に分けられます。

12月16日(月) 出演



カンテレあんさんぶる“みゅう”

出演:佐藤美津子、宇野千恵子、渡邊真美

2005年カンテレを愛好する人たちを中心に結成される。小型、中型、大型カンテレなどのアンサンブルを得意とする。最近は歌や笛なども入れてレパートリーを増やしている。フィンランド音楽は勿論のこと、日本の曲や世界中の曲などを演奏し好評を博す。モエレホワイトクリスマスコンサート、白石区民センター、百合が原各地区センターなどのロビーコンサート、芸術の森でのコンサート、藻岩山のコンサートなど札幌市内を中心活発に演奏活動を展開。

主宰:佐藤美津子(北海道フィンランド協会常務理事、道新文化センター講師)